✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧

✧　「緊急地震速報講演会及び緊急地震速報関連機器等展示会」が開催されました

「緊急地震速報講演会及び緊急地震速報関連機器等展示会」は、11 月 21 日（日）に東京都港区にある赤坂区民センター（区民ホール）で開催されました。

講演会は、気象庁の主催、港区と緊急地震速報利用者協議会の共催で開催され、「緊急地震速報！そのときどうする？　いま何をする？」をテーマに、次の講演が行われました。

・**「緊急地震速報の利活用とその課題」日本大学文理学部社会学科　中森広道　教授**
　緊急地震速報の利用状況の調査・分析から、地震災害から身を守るために緊急地震速報をどのように利活用すべきであるかについて講演されました。

・**「身を守るための情報の活かし方」半井小絵　気象キャスター**
　阪神・淡路大震災の経験を交えながら、防災情報をいかにわかりやすく伝えるかについて講演されました。

・**「港区が進める防災対策と助成制度」港区役所　遠井基樹　防災課長**
　都市型災害に対する港区の取り組みと、地方自治体では港区が初めての緊急地震速報受信装置の個人レベルの導入に対しての補助制度について講演されました。

展示会は緊急地震速報利用者協議会と（財）気象業務支援センターの共催で開催しました。

協議会事務局で出展者の募集を行ったところ 8 会員の応募があり、緊急地震速報利用者協議会、当センター、港区の出展を含めて 11 ブースとなりました。当日は早朝からブースの設営、展示物の掲示を行い、11 時のオープンに間に合わせました。区民ホールのホワイエにはオープンと同時に見学の方が来場され、講演会の前後では展示会場が満杯となるほどの盛況で、緊急地震速報の周知・広報に貢献できたものと思います。

（緊急地震速報利用者協議会事務局　財団法人気象業務支援センター配信事業部長　加藤 芳夫）